

令和3年度 学校自己評価システムシート (滑川町立月の輪小学校)

目指す学校像	子供が生き生きと活動し、保護者や地域から信頼される学校			達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
重点目標	1 確かな学力の確立	○日々の授業の充実	○学力と体力の向上		B	概ね達成 (6割以上)
	2 豊かな心と人権尊重の精神の育成	○人との関わりを豊かにし、思いやりの心を育む道德教育の推進			C	変化の兆し (4割以上)
	3 学校・家庭・地域との連携	○家庭・地域に見える教育の推進			D	不十分 (4割未満)

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標				年度評価 (2月1日現在)				
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価目標	評価項目の達成状況	歳	次年度への課題と改善策	
							実施日 令和4年2月2日	
							学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>○授業規律は概ね身に付いており、落ち着いた授業態度である。</p> <p>○基礎・基本の定着は概ね身に付いている。</p> <p>▲感染対策をした上での、教育活動の充実を図る必要がある。</p> <p>▲各種調査結果から、自分の考えを書き、発表することが苦手である。</p> <p>○休み時間は、積極的に外に出て遊んでいる。</p> <p>▲ステイホームの影響が、やせ型が減り肥満型が増える傾向が見られる。体力の低下が心配される。</p>	学力の向上 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、問題解決的な授業や話し合い活動を積極的に取り入れ、授業改善を図る。 各調査の分析結果を授業改善に活かし、指導法を工夫し各層の学力向上を図る。 ICT機器の積極的な活用により、学習に対する意欲と定着を図る。 外遊びの推奨と体育授業で、補強運動やダッシュ等の運動を毎時間取り入れる。 家庭と連携し、健康管理を充実させ健康で安全な学校生活が送れるようにする。 家庭学習の充実を図り、学習の仕方や宿題の取り組み方等を伝え、協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関するアンケートで「授業がわかる」「学習の仕方がわかる」の項目を95%以上にする。 学力調査の結果で、平均以上、又、前年度からの「伸び」がプラスにする。 新体力テストの結果の総合評価 (A+B+C) を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業がわかる」「学習の仕方がわかる」とも95%で目標を達成した(「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計)。保護者への同様の質問では、98%、97%であった。 ICT機器を積極的に活用した。 全国調査では、国語は平均以上の正答率で算数は下回った。県調査では、国語・算数ともに、4年生は平均の正答率であった。どの学年も算数より国語のレベルの方が高い。伸びは各学年とも見られる。 新体力テストの総合評価は79.6%で目標の80%を若干下回った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、話し合い活動や感染リスクの高い教育活動の制限等があったが、工夫しながら授業を行った。 タブレットPCやデジタル教科書などのICT機器を積極的に活用した。児童の理解を深めるツールとなるようさらなる研修が必要である。 自分の考えを書く力に課題がある。意図した指導を行う。 コロナ禍で普段の運動量が減っている。外遊びを勧める。 	<p>○子供たちは、落ち着いて授業を受けている。先生方も頑張っている。</p> <p>○国語力をしっかり身に付けなければ、すべての教科の伸びが期待できないのではないかと。引き続き書く活動・読書活動の充実が必要である。家庭での取組も求められる。</p> <p>○自分の考えをまとめ伝える活動の充実を期待する。そのために、国語の時間に限らず、書く(作文)指導を取り入れたらどうか。</p> <p>○デジタル教科書の活用が図られている。今後も研究を進めて欲しい。</p> <p>○体力については、コロナ禍で仕方ない部分もある。</p>
2	<p>○道德の授業は指導計画に沿って実施されている。全教育活動を通して道徳的な指導を実践することで道徳性は身に付いてきている。</p> <p>○登校班や縦割り活動では、高学年が低学年の面倒をよく見ている。</p> <p>▲児童の道徳性や道徳的実践には、個人差が見られる。</p> <p>○全体で揃ってのあいさつは、概ねできる。</p> <p>○徐々にではあるが、あいさつができるようになってきた。</p> <p>▲校内ではあいさつができて、地域の人へのあいさつができない児童が多い。</p>	豊かな心の育成 規律ある態度の育成 (場に応じたあいさつ・返事)	<ul style="list-style-type: none"> 考え議論する「道徳」の授業を目指した授業改善を図り、児童の道徳性や道徳的実践力を高めるよう努める。 授業参観での道徳授業の公開と生活アンケートの学期毎に実施する。 縦割り活動の充実を図り、リーダーとしての自覚を持たせ育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活アンケートで豊かな心や規律ある態度に関する項目において、達成率を85%以上にする。 学校評価に関わるアンケート「あいさつ」の項目で児童・保護者の達成率を90%以上にする。 学校生活アンケートで規律ある態度に関する項目において達成率85%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止をはじめ人権教育を全教育課程で取り組んだ。 教科化された道徳は授業時数を確保と指導内容の充実を図った。命を大切に心や人権尊重の達成率は97%、規律ある態度(46年の2組)の達成率は88.9%である。 あいさつや返事の達成率は、児童が93%、保護者が82%である。県学調(4~6年)では、あいさつ80.4%、返事88.8%と上昇した。 学校生活アンケート(あいさつ・返事・ルール・マナー)の達成率は、95%(児童)、91%(保護者)である。全体的には概ね達成している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業は計画的に取り組んでいる。「考え・議論する」道徳の授業となるよう努める。 児童の人権意識を高めるためには、教職員の人権感覚を磨く必要がある。今後も研修を充実させたい。 あいさつについては、様々な取組により徐々に成果が見られている。継続した指導が必要である。 基本的な生活習慣は概ね身に付いてきている。学校生活すべてにおいて継続した指導をしていく。 	<p>○人権教育については、研究委嘱が終わっても継続して取り組んで欲しい。また、ネットも含め表面化しづらいいじめ問題にも注視する必要がある。</p> <p>○「あいさつ」について、児童・保護者・教職員それぞれの捉え方がよく分かる資料である。先生方の努力が読み取れる。</p> <p>○朝のあいさつが不十分なのは、家庭での基本的な生活習慣(ゲーム等の影響)にも課題があるのではないかと。家庭との協力が必要だろう。</p> <p>○スマホ等の適切な使用方法やモラルの面の指導が今後必要である。</p>
3	<p>○学校・学年日より、保健日より等により、保護者・地域に学校の教育活動の情報を定期的に提供している。</p> <p>○いくつかのクラスでは、学級通信を発行しクラスの様子を伝えている。</p> <p>○学校メールは全家庭が登録し、緊急時の連絡が迅速に伝えられている。</p> <p>○学校HPの活用を進めている。</p> <p>▲アンケートや保護者の声からは、学校に対して様々な意見が窺える。</p>	開かれた学校づくり (家庭・地域に見える取組)	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を講じ、授業参観等を学期1回実施すると共に、学校日より、学年日より等を定期的に発行し、学校の教育活動を積極的に発信していく。 感染対策を講じながら学校行事を公開し児童の活動の様子を参観していただく。 PTA行事等が制限される中、積極的に家庭との連携を図り、協力態勢を構築する。 保護者の意見には傾聴し、迅速な対応、保護者や児童に寄り添った指導を行う。 学校HPの効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価に関わるアンケートで積極的に「情報公開している」「PTA活動等に取り組んでいる」の項目の95%を維持する。 学校公開や授業参観等の参加率を全体の90%以上にする。 HP更新を月2回以上更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果では、「情報公開している」「地域活動やPTA活動に取り組んでいる」とも97%となった。コロナ禍でできることを工夫しながら取り組んだ結果からは高いポイントである。 学校公開はできなかったが授業参観は工夫しながら実施し、91.3%の参加率であった。 HPは学校だよりの他、行事紹介『月小ダイアリー』の更新を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であったが工夫をしながら無理のない形で取り組んで来た。成果もあったが改善点を今後を生かしていく。 授業参観を分散で行ったが、オンライン等の方法も検討する必要がある。 学校だよりのだけでなく、学校行事等もHPにアップした。見たくなるページ作りとPRに取り組みたい。 	<p>○コロナ禍でPTA活動も制限される中、工夫しながら実践していた。</p> <p>○保護者が来校する機会が減った中で、HPを利用して教育活動を紹介していることは保護者にとっても良かったと思う。</p> <p>○授業参観を分散でも実施できたことはよかった。ただ、PTA活動で一堂に会することができない状況であることから、保護者同士の関係づくりという点では十分できなかったことが残念である。</p>

○印：成果と思われること ▲印：課題と思われること